

Chemical Bonds 支部／教育・普及部門だより

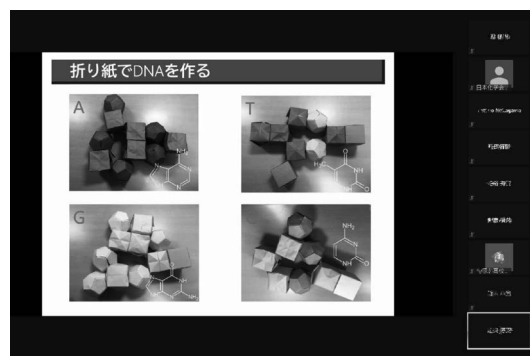
近畿支部発

第 23 回近畿地区化学教育研究発表会

2021 年 6 月 12 日(土)に第 23 回近畿地区化学教育研究発表会（主催：日本化学会近畿支部化学教育協議会，日本化学会近畿支部）を開催し，化学教育関係者 37 名が参加しました。

本大会は，近畿地区の小・中学校や高校，大学等で化学教育に携わる先生方に発表いただき，情報や意見の交換を行うことで，化学教育の活性化を図ることを目的としています。昨年度は，新型コロナウイルス感染症対策のために中止としましたが，今年度は Web 会議システムの Zoom を用いてオンラインにより開催することができました。

8 件の発表内容には，教材用の塩化亜鉛型空気乾電池の酸素の消費量をメスピペットで調べる試み，安全なゲル電気泳動装置の開発とコロイド溶液の実験，生徒主体型学習による「化学反応の量的関係」の実験のマイクロスケール化など，新規な実験教材の実践報告がありました。また，オンラインでも繋がりを持ち続ける高校生国際共同課題研



究の実践，国際周期表年 2019 に合わせた周期表の授業と関連書籍の展示など教育現場における取組の報告，さらに，高等専門学校生徒が取り組んだ，化学×折り紙をテーマにした特別研究活動に関する報告もありました。

いずれも興味深い発表であり，活発な質疑が行われ，参加者の方々の化学教育に対する熱意を感じる一日となりました。来年度も 6 月上旬に開催予定です。

(松浦紀之 奈良女子大学附属中等教育学校教諭，近畿支部化学教育協議会委員)

